

2026年度大学院研究科博士前期課程・修士課程入学試験問題

No. 2

日程	研究科	区分	試験科目
B日程	経済学研究科	一般 外国人留学生	専門科目 (経済学に関する問題)

経済学に関する問題

問

下記の (1)～(3) より 2 問を選択して解答しなさい。(各 50 点、合計 100 点)

(1) 労働市場について考える。政府が最低賃金を決め、それが市場均衡賃金を上回っていた場合はどのような問題が生じるか、グラフを利用して説明しなさい。

(2) 近年の日本経済においてインフレが顕在化している。この状況で政府と日本銀行はどのような政策を行うべきか、説明しなさい。

(3) 貯蓄率を国別データを利用して回帰分析し、統計的な問題を処理した上で下記の式を得たとする。

$$S = 20.3 - 0.8YNG - 0.5OLD$$

ただし、変数については、 S : 貯蓄率 (%), YNG : 全人口のうち 14 歳以下人口の占める割合 (%), OLD : 全人口のうち 65 歳以上人口の占める割合 (%) とし、各係数はすべて統計的に有意であったとする。この結果から、貯蓄率は人口構成とどのような関係にあるか数値を用いつつ説明しなさい。